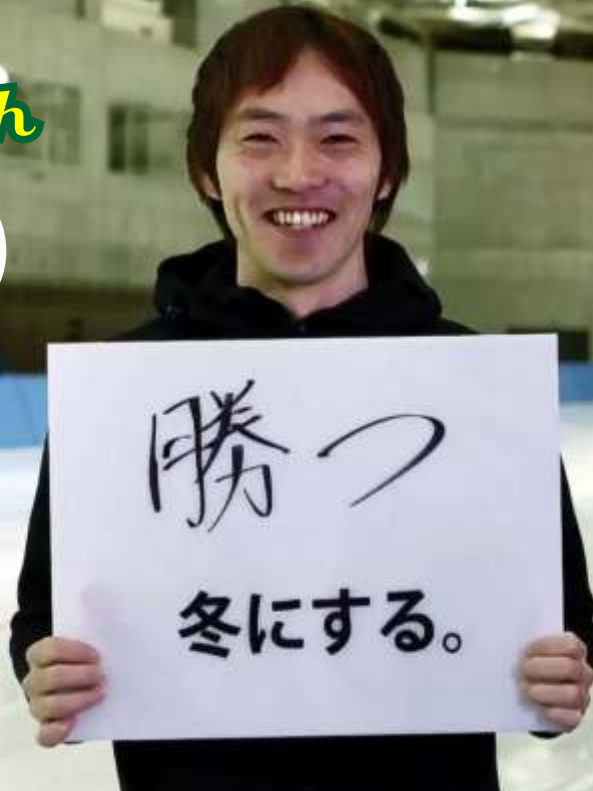


## スマイルアスリート 長島 圭一郎さん

オリンピック・パラリンピック  
出場経験者よりスポーツへの情熱と皆様への熱いメッセージをお届けします。



「ながしま けいいちろう」さん  
2010年バンクーバー五輪、スピードスケート競技(500m)にて、銀メダル獲得。

画像：2017冬季アジア札幌大会プロモーションビデオより

スケートと共に歩んだ人生

私は、3歳からスピードスケートを始めて35歳で引退しました。小さい頃はスケート以外にも様々なスポーツをして一年中スポーツをして遊んでいました。その中で色々な出会いがあり、スポーツから離れ違う道にも行くことが

迷った時もありましたが、小学校、中学、高校、大学とスケートを続けて、スケートを通じてしか見ることができない経験をしてみたいと思い学生生活を送っていました。様々な人との出会いを通じて、自分にはスケートの才能があると思って、環境も整っていたので、やりたいことをやるうと決心したのは大学四年生でした。おかげさまで、トリノ、バンクーバー、ソチと三大会出場でき、15年間世界の大会に参加することができました。

世界で感じた個の主張

初めて世界に出たとき、スケート競技界の人しか知らなかったのが、海外選手の個性にビックリしました。選手一人一人、個性の主張が日本人に比べて強く、自分の考えがはっきりしていました。マイナス30度のなか、外でハーフパンツ一枚で歩く選手や、レーシングウェアのお尻が破れて丸見えの状態が出る人などを見て、驚きの連続でした。個の主張より、空気を読んで周りに合わせ、相手を気遣うことは日本人特有で、日本が争いが少なく平和である故だと感じ、すばらしい長所だと思いました。

いつも感謝の気持ちを感じて

スピードスケートはマイナーなスポーツですが、本当に沢山のボランティアの方々を支えられています。メジャースポーツなら手を挙げて参加したと思いますが、マイナーなスピードスケート競技のボランティアを

してくれている方々には、本当に感謝しかありません。

ボランティアの存在が当たり前にならないように感謝の気持ちを忘れずに競技をしていました。

会場は寒いので、よく競技役員用のホットコーヒーを大量に持ってきて、ボランティアに配っていました。競技役員からはアイツはここから持っていくんだ、と思われたかもしれませんが(笑)

ボランティアに来て嫌な思いをして帰るのではなく、「楽しかった、スケート選手はみんないい人だ」と思ってもらえるように心がけて、少しでもスケートのファンになってもらうことが人気や競技人口増加に繋がると思います。今のスピードスケートはボランティアなしでは成り立たないと思っているので感謝し尽くせたいです。

〈質問〉モチベーションを上げる方法を教えてください。

モチベーションの上げ方は、なんでも良いと思っています。例えば、モチたい、お金持ちになりたい、人気者になりたい、など。

そして、モチベーションの内容も変わってもいいと思います。取材や、テレビなどでは言えない理由があるなら言わないでそれ用のコメントを用意していただければ幸いですから。

どんな動機でも、モチベーションを持っていただければ常にやる気高い位置でキープできると思います！

「クイズ」アスリートからの挑戦状

Q スピードスケートでは、競技中にサングラスをかける必要がある？  
か×か。(回答はウラ面)

「第3回 スマイル・サポーターズ研修会」は、  
青少年のアイスホッケー観戦で！



3月3日(土)、4日(日)に第3回研修会を行いました。両日、延べ63人のみなさまにご参加いただきました。

研修会では、月寒体育館内を解説付きでめぐるとともに、「2018アジア地域青少年アイスホッケーリーグ札幌大会」を観戦しました。香港と日本の子ども達が繰り出す大人顔負けのアイスホッケーの試合に、スマイル・サポーターズの歓声があがり、子ども達のパフォーマンスを後押ししたことでしよう！

施設見学ツアーも好評で、担当者の興味深い話に耳を傾け、有意義な時間を過ごすことができました。

みなさまのご協力あって、研修会を無事終えることができました。みなさま、ありがとうございました！

「レッドブルスノーチャージ」でのボランティア  
「ご協力ありがとうございました！」

3月10日(土)、「レッドブルスノーチャージ」のボランティアのご協力ありがとうございました！

徒競走とスキー・スノーボードを融合した特別なレース。選手は、ひっくり返された自分のスノーボードを走って見つけ、装着して滑走をします。

ボランティアの方も実際にスキーまたはスノーボードを履いてお手伝いしていただきました。

寒い中の活動に、主催者から感謝の言葉が贈られて来ました。

連載 Road to 2019



札幌ドームでキックオフシリーズ③

ラグビーW杯2019  
大会チケット情報

開催都市の住民向け  
チケット先行発売が  
始まっています！

先行販売は  
4月12日(木)まで

↓チケット購入はこちらから！



2019年9月22日(日)、札幌ドームでイングランド対トンガ戦が開催されます。みなさんトンガという国・チームをご存知でしょうか？

トンガは、南太平洋に浮かぶ約170島群からなる国家で、イギリス連邦加盟国のひとつ。サモアの南、フィジーの東に位置し、首都は最大のトンガタプ島にあります。日付変更線のすぐ西にあり、世界で最初に朝を迎える王国。親日国家で治安も良いため、リゾート地として人気を得ています。

ラグビートンガ代表は、「イカレ・タヒ」(海鷲)という愛称で親しまれ、かつて行われていたパシフィック・トライネイションズ(ラグビーの国際大会の一種)で2度優勝経験があります。

オセアニアのW杯参加経験がある国で唯一決勝トーナメントに進んでいないのですが、2011大会では、古豪フランス代表チームに勝利する快挙を成し遂げました。実力を上げているトンガと強豪イングランドの戦いは見逃せません！



トンガってどんな国？  
チームの魅力に密着！

スマ・サポ インフォメーション

詳しい情報はSGSCのHPから！  
<http://www.sapporosports.org/volunteers/>

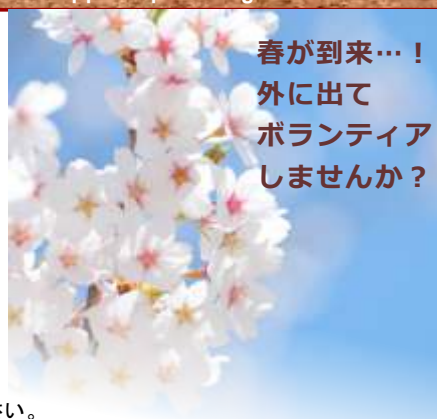
★春季以降のスマ・サポ活動予定★

○第3回 札幌ランニングフェスティバル 5月26日(土)、27日(日)(募集終了)

○第28回 日本シニアオープンゴルフ選手権 7月9日(月)～15日(日)  
※5月31日(木)まで募集していますが、定員になり次第締め切りますのでお早めのご応募お願いいたします。(主催者に直接お申し込みください。)

募集詳細はHP上またはメールでお知らせいたします！

※少人数または急遽のボランティア要請の場合、メール配信のみのご案内もありますので、ご了承ください。



春が到来…！  
外に出て  
ボランティア  
しませんか？

クイズのこたえ：× べつにかけなくてもいいんです！(人それぞれ)